

公益社団法人 日本コンクリート工学会 九州支部

第4回学生シンポジウム 講演者情報

[聴講]

オンラインにてご参加いただき、質問はテキストチャットや音声チャットで受け付けます。発表学生や大学・高専の方に聞きたいことをどのようなことでもいいので質問して下さると幹事学生が喜びます。学会のように堅苦しい発表ではなく、フランクな形態を目指しております。また、途中参加、途中退室も可能です。

[発表者と概要]

発表 10 分，質疑 10 分で講演を行います。

見山 宗士郎（九州大学 土木系 学部 4 年）

題目：ASR の残存膨張性の評価について

コンクリートの劣化の原因の一つにアルカリシリカ反応（ASR）による膨張がある。構造物で ASR が発生した際には、将来の劣化リスクの把握のため、採取したコアを用いて促進膨張試験が行われる。しかし、このコアの促進試験から得られた残存膨張性が元のコンクリートの劣化の将来予測として妥当であるか議論の余地がある。本発表では、ASR の残存膨張性を評価する様々な手法についてその特徴を整理するとともに、上記課題に対する我々の奮闘の日々を紹介する。

出口 青空（鹿児島大学 土木系 学部 4 年）

題目：電気化学的観点からの鉄筋腐食の進行予測

RC 構造物の劣化要因である塩害は、構造物の耐久性を著しく低下させる要因のひとつです。そのため、構造物の設計および維持管理には、コンクリート中鉄筋の劣化進行予測が必要不可欠となります。そこで、本研究では電気化学的な観点から、コンクリート中鉄筋の分極特性を把握し、腐食進行モデルの構築を行っています。発表では、所属している建設材料研究グループの材料開発や維持管理が大好きな愉快的仲間たちも紹介します。

井上 穂香（宮崎大学大学院 土木系 修士 1 年）

題目：材料保管温度が部材の膨張性状に及ぼす影響

コンクリートのひび割れ対策として膨張材が使用される。膨張材およびセメントの水和反応は、その温度依存性によりコンクリートの膨張性状に大きく影響を及ぼす。本研究では、異なる材料保管温度環境で作製した供試体の長さ変化及び圧縮強を検討することで、材料の保管温度が部材の膨張・強度性状に及ぼす影響を明らかにし、その結果を報告する。

徐 元遇（九州大学大学院 建築系 博士 4 年）

題目：暑中環境で施工される種々の強度の構造体コンクリートに関する研究

近年、地球温暖化の加速に伴い、日本各地の年間 25℃を超える日数が増加する傾向にあり、そこ

に伴い、暑中期に施工されるコンクリートの品質にも悪影響があると予想される。本発表では、令和3年度・令和4年度の暑中期に九州大学実験棟で施工された実大柱試験体のコンクリート強度発現性状や硬化体組織の緻密さ等を検討した結果を報告する。また、表層部の透気性状や吸水性状を測定し、中性化をはじめとする耐久性との関係の検討も併せて報告する。

河崎 尚哉 (北九州市立大学大学院 建築系 修士1年)

題目：建築巡り日本一周旅について

学部生の中で建築の勉強をして来なかった建築学生が学部4年の夏から猛スピードで建築の勉強に取り掛かり、卒業論文優秀賞、学内コンペ入賞、二級建築士学科合格を取った後に建築を見て学ぶために夏休み期間の2ヶ月を使って建築巡り日本一周旅にでる。今回はその「学びあり、笑いあり、涙無しの波乱の日本一周旅」について発表をさせていただきます。

押領司 祥 (大分大学 建築系 学部4年)

題目：枠組み組積造に関する実験

中国や中南米などで使われている枠組み組積造ですが、中央アメリカ中部に位置するエルサルバドルにおいて1997年の技術規定では、枠組み組積造壁体の中央高さの位置に中間梁を設ける規定がありました。2001年の改訂で調査や研究が行われないまま削除されたため、私たちはこの中間梁の効果の評価するために中間梁ありと中間梁なしの2体の試験体を作り、実験を行っています。

[開催までのスケジュール]

～10/24 申し込み締め切り

お申込みいただいた後、入力していただいたメールアドレス宛にオンライン参加用のリンクを送付させていただきます。

[聴講申し込み方法]

Google フォームより申し込み → 事前にメールにて Zoom のリンクと詳細をご連絡いたします。

申し込みフォーム：<https://forms.gle/9JfSHjN1vMBrh1e86>

[プログラム]

ご案内は日本コンクリート工学会九州支部のホームページにも掲載しており、詳細が決まり次第、ホームページの更新を予定しております。<http://www.jci-kyushu.jp>

- 13:00～ Zoom 接続開始
- 13:30～ 学生シンポジウム開始, はじめの挨拶
- 13:45～ 九州大学 見山 宗士郎
- 14:05～ 鹿児島大学 出口 青空
- 14:25～ 宮崎大学 井上 穂香
- 14:45～ 休憩

15:00～ 九州大学 徐 元遇
15:20～ 北九州市立大学 河崎 尚哉
15:40～ 大分大学 押領司 祥
16:00～ 休憩
16:15～ 雑談会
質問し損ねたことや、さらに気になったことを聞くことのできる時間
幹事学生を主体として参加者が自由にディスカッションできる
16:45～ おわりの挨拶
17:00 終了予定

[連絡先]

メールアドレス : japanconcreteinstitute.2022@gmail.com

[学生幹事]

実行委員長 井上 穂香 (宮崎大学 大学院工学研究科 工学専攻 環境系コース)
副実行委員長 立花 舜 (北九州市立大学 国際環境工学研究科 建築デザイン専攻)
大島 千鶴佳 (大分大学 大学院工学研究科 工学専攻 建築学コース)
東 青龍 (鹿児島大学 大学院理工学研究科 工学専攻 海洋土木工学プログラム)
桐野 彰真 (熊本大学 大学院自然科学教育部 土木建築学専攻 建築学教育プログラム)
野澤 郁人 (九州大学 大学院工学府 土木工学専攻)

以上